

塩竈市浦戸寒風沢の土見壽郎の語り [2]

語り手 土見壽郎

聞き手 山田裕子

撮影 福原悠介・長崎由幹・酒井耕

日時 2018年10月9日

場所 宮城県黒川郡大衡村

事業年度 2019年度
発行年度 2020年度
資料番号 10002670



制作 みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

民話声の図書室

塩竈市浦戸寒風沢の土見壽郎の語り [2]

みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

解説 この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声、映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、塩竈市在住の土見壽郎さんの語りを、山田裕子を聞き手として、長須賀直子、山田和郎の協力を得てまとめたものです。

キーワード

- ・ 伝承の民話
- ・ 語り聞く
- ・ 土着の魂/旅人の眼
- ・ 記録映像

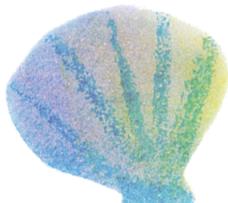
土見壽郎 (つちみじゅうろう)

大正十四年(一九二五)、塩竈市浦戸諸島寒風沢島に生まれる。十五歳から一家の中心的な働き手として農業に従事する。島を訪れる小学生に民話を話したことがきっかけとなり、島の民話を調べて語り始める。東日本大震災の津波で田畑と家を失い、その後は島を離れ塩竈市内で暮らしている。この映像記録は三度の津波を体験した土見さんの島での暮らしの話を中心としている。



- ① 「塩竈甚句」をうたう、民謡と民話 (10分)
- ② 民謡はわたしの生きがい (7分)
- ③ ワカメ採り、種ガキ、海苔養殖の仕事をする (11分)
- ④ 戦後、島の「結い」が薄れる (5分)
- ⑤ 津波後の島の暮らし (7分)
- ⑥ 海と暮らしてきた島で海が見えない (9分)
- ⑦ 古下駄のお化け、焼き供養 (12分)
- ⑧ 慶長津波で集落が元屋敷から移る (8分)
- ⑨ 寒風沢は伊達藩の米の積み出し港 (5分)
- ⑩ 縛り地蔵 (7分)
- ⑪ 幕軍と官軍が寒風沢に寄港する (6分)
- ⑫ 寒風沢の港が塩竈の港にとって代わられる (9分)
- ⑬ 今も夢にみる島の田仕事と海の仕事 (6分)
- ⑭ 島を訪れる小学生に島の民話を語る (7分)
- ⑮ 御前の家の大銀杏 (10分)
- ⑯ 猫の義太夫 (7分)
- ⑰ 内海長者と伊達吉村 (11分)
- ⑱ 一九歳で北支に招集され、八路軍と戦う (22分)

※ ○は民話、●はその他の話です。



館内視聴 (smt) ○ 館外貸出 (smt) ○ 団体貸出 ○ | 162分 | カラー | 16.9 | ステレオ | 日本語 | 片面一層 MPEG-2 |

【おことわり】

- ・ 私的鑑賞の目的以外に、無断で複製、改編、公衆送信(放送、有線放送、インターネットなど)、上映、上演、頒布(販売、貸与など)、翻訳、翻案などに使用することはご遠慮ください。
- ・ 学校教育または社会教育など、公益目的での利用を希望される場合は、視聴覚教材ライブラリーをご利用ください。
- ・ 収録された作品等の著作権はそれぞれの権利者に帰属しています。二次利用等についてのご相談は、せんだいメディアテークまでお問い合わせください。
- ・ 内容の一部不適切な表現がふくまれる場合がありますが、記録保存の観点からそのまま収録しています。あらかじめご了承ください。



【発行】せんだいメディアテーク 電話: 022-713-4483 / ファクス: 022-713-4482 【助成】一般財団法人 地域創造

E-mail: office@smt.city.sendai.jp Website: https://www.smt.jp

